

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立太田小学校

作成日

令和3年3月12日

1 教育目標

豊かな心を持ち、自ら考え、正しく生きぬく子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	対話の取り組みをより確かなものにするためにも自分の考えを持たせることが必要で、そのためにも教材や自己との対話に十分時間をかけることが大切。	挨拶に掃除にがんばっているのがよく伺えます。朝の挨拶は、受け身になるのではなく積極的に声かけをすることで指標を達成できるのでは。	高学年になると外遊びが減ったことは子供の話から感じていました。アンケートのとり時期にもよると思います。	太田小の先生方や育生会の皆さんの教育に対する協調活動がしっかりしている。今年度は、参観ができなかったので学校の様子が見えにくいところがあった。
意 見 対 照	自主学習についての目標設定はなかなか難しい。	重点3項目は、それぞれの角度から育成する上で大変良いと思います。今年度は、子供のストレスも多かったと思います。その中で差別をなくす、思いやりの心を育てる目標や取組があってもいいのではないかと思います。	コロナ禍のなかでの指標達成は困難だと思慮しますが、感染対策を徹底してがんばってもらいたい。	広報の充実から地域は関心を持つので更に発信されたい。積極的な情報発信が地域資源活用に繋がると思います。
意 見 対 照	「太田タイム」「読書タイム」は、学習の習慣を身に付ける上で良い取り組みだと思ふ。自主学習の内容については、高学年になっても何をしたいのか親子で悩み、宿題をこなすことが目標になっている。	読書に対しては、書籍や図書室の見直しや各家庭の協力が必要では。挨拶運動でのジャンケンも子供も楽しみにしていました。登校指導時も挨拶を返してくれる子供たちが多く嬉しかった。	外遊びが増えても体力の低下が課題になるので、積極的に体を動かす取組が必要。風の子活動は子供もとても楽しみにしています。先日の地震の時の行動を振り返り今後活かしてもらいたいです。	学校便りは毎月回覧して太田小の状況がよく分かります。今年度は、子供たちの安全を考え、地域の方々と交流が減ってしまったことは仕方ないことだと思ふ。分散登校時は、地域の見守り隊の方々も携わってくれましたので、安全に通学できた。
意 見 対 照	自ら課題をもち自主学習につなげていくことは大切。形骸化していないかの検証・評価が必要。今年度はグループ学習ができなかったが、他の人の発表はしっかり聴くことができていた。	挨拶に関して、子供と保護者の指数に開きがあるので、その差を埋める取組が必要。挨拶ジャンケンも、子供たちが自分たちで考え行動し楽しく挨拶できることにつながった。	風の子活動では縦割りのグループで、外遊びでも学年を問わず交えてドッジボールをする等、仲良く遊ぶいい雰囲気刺激し合っている。	対面交流の企画充実を求めます。登下校の児童の様子から太田小の現状が見てとれます。登下校の情報交換が密にして、地域との連携を深めたい。
意 見 対 照	50周年記念行事で取り組んだような自主的・意欲的な取組に期待する。ICT機器を活用し学習や保護者・地域との連携につなげてもらいたい。グループ学習の機会をいかに増やすか。	挨拶や掃除等、上級生が下級生に指導する機会を設けては。読書は低学年のうちに習慣づけることが大切と思うので興味関心をもてるような取組を。挨拶運動の継続を。掃除に対していい意識で取り組んでいる。	新体力テストの結果を検証し、課題を絞って取り組んではどうか。食育教育にも力をいれてはどうか。体力向上＝外遊びではなく、音楽に合わせてのダンス等、現代の運動にすなげる取組を。	発信した情報をどのようにフィードバックし、その内容をどのように検証するか、検証の結果をどのように活用するかが今後の課題。育生会も新聞等をHPで発信していきたい。多くの先生方と交流できる機会を作っていただきたい。

3 その他のご意見

今年度は、例年通りにいかなかったことが多い中、子供たちが楽しく過ごせるように安全を考慮した対応を取っていた。子供たちの様子や休憩時間の過ごし方、アンケート等から充実した学校生活を送れていることが伺えた。安心・安全が確保できれば、これまでのつながりを継続しつつ、新たな交流ができればいいと思います。規則やストレスがある中、子供たちなりに工夫して楽しみ方を見つけていたと思います。5分前行動、チャイムが鳴る前に教室に戻る姿勢はすばらしいと思いました。